

3 学年 社会科 年間指導計画

【歴史】

- 第 5 章 開国と近代日本の歩み
- 第 6 章 二度の世界大戦と日本
- 第 7 章 現代の日本と世界

【公民】

- 第 1 章 現代社会と私たち
- 第 2 章 個人の尊重と日本国憲法
- 第 3 章 現代の民主政治と社会
- 第 4 章 私たちの暮らしと経済
- 第 5 章 地球社会と私たち

【評価材料】

定期考査・ワークシート・ノート・単元シート・ワーク・小テスト・授業観察

【歴史】

第5章 開国と近代日本の歩み

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	明治維新	<ul style="list-style-type: none">・富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々生活が大きく変化したことを理解している。・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。	<ul style="list-style-type: none">・明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関りについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	<ul style="list-style-type: none">・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4	日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none">・日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	<ul style="list-style-type: none">・議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関り、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	<ul style="list-style-type: none">・議会政治の始まりと国際社会との関り、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第6章 二度の世界大戦と日本

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none">・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と、大	<ul style="list-style-type: none">・戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第	<ul style="list-style-type: none">・第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

		戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
2	大正デモクラシーの時代	・我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きを理解している。	・世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	世界恐慌と日本の中国侵略	・経済の世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4	第二次世界大戦と日本	・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	・戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第7章 現代の日本と世界

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	戦後日本の発展と国際社会	<p>・我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>・冷戦、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>・高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</p>	<p>・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>・冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
2	新たな時代の日本と世界	<p>・国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</p>	<p>・国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

【公民】

第1章 現代社会と私たち

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	現代社会の特色と私たち	・現代日本の特色として少子高齢化, 情報化, グローバル化などが見られることについて理解している。	・位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 少子高齢化, 情報化, グローバル化などが現在と将来の政治, 経済, 国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し, 表現している。	・私たちが生きる現代社会について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	私たちの生活と文化	・現代社会における文化の意義や影響について理解している。	・位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し, 表現している。	・文化の特色について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
3	現代社会の見方や考え方	・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正などについて理解している。 ・人間は本来社会的存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	・対立と合意, 効率と公正などに着目して, 社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通じた個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察し, 表現している。	・現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第2章 個人の尊重と日本国憲法

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	人権と日本国憲法	・人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて, 日本国憲法が基本的人権の尊重, 国民主権及び平和主義を基本	・対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 対話的な活動を通じ, 日本国憲法が大切にさ	・日本国憲法が大切にされてきた理由について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしてい

		<p>的原則としていることについて理解している。</p> <p>・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p>	<p>れてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>る。</p>
2	人権と共生社会	<p>・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</p>	<p>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法において人権保障が大切にされている理由について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
3	これからの人権保障	<p>・社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p>	<p>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

第3章 現代の民主政治と社会

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	現代の民主政治	<p>・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p>	<p>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
2	国の政治の仕組み	<p>・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p>	<p>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙</p>	<p>・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

		・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。	など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
3	地方自治と私たち	・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第4章 私たちの暮らしと経済

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	消費生活と市場経済	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	生産と労働	・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
3	市場経済の仕組みと金融	・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

		理解している。 思考・判断・表現		
4	財政と国民の福祉	・社会資本の整備, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 消費者の保護について, それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義, 国民の納税の義務について理解している。 思考・判断・表現	・対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 ・対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し, 表現している。	・国民の生活と政府の役割について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
5	これからの経済と社会	・公害の防止など環境の保全について, その意義を理解している。	・対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	・国民の生活と政府の役割について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第5章 地球社会と私たち

節	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	国際社会の仕組み ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには, 国際協調の観点から, 国家間の相互の主権の尊重と協力, 各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ・領土(領海, 領空を含む。), 国家主権, 国際連合の働きなど基本的な事項について	・対立と合意, 効率と公正, 協調, 持続可能性などに着目して, 日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	・世界平和と人類の福祉の増大について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

		理解している。		
2	さまざまな国際問題	・地球環境, 資源・エネルギー, 貧困などの課題の解決のために経済的, 技術的な協力などが大切であることを理解している。	・対立と合意, 効率と公正, 協調, 持続可能性などに着目して, 日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	・世界平和と人類の福祉の増大について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
3	これからの地球社会と日本	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには, 国際協調の観点から, 国家間の相互の主権の尊重と協力, 各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。	・対立と合意, 効率と公正, 協調, 持続可能性などに着目して, 日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 主体的に学習に取り組む態度	・世界平和と人類の福祉の増大について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。